

2002年～2003年度
国際ロータリー 第2640地区

第8組

INTERCITY MEETING

平成14年10月12日(土) リーガロイヤルホテル堺
ホストクラブ 堺清陵ロータリークラブ

IM8組 パネルディスカッション

『ロータリーに入会して良かった』

コーディネーター：ガバナー補佐(堺清陵RC)	渭東 祥晃
パネリスト：ガバナー補佐(堺南RC)	池中 徳治
ガバナー補佐(堺東南RC)	永井 孝弘
堺RC会長	成瀬 寿一
堺泉ヶ丘RC会長	比楽 卓郎
堺フェニックスRC会長	岡本 勝士
堺東RC会員	重山 香苗

パネリストの皆さんに、ロータリーに入会してどんな点が良かったかを質問しますと、殆どの人は『知人、友人が多くできた』ことを第一に挙げられ、それらの友人との交流により、多くの楽しみ、情報も得られるが、何と云っても他業種の専門家、人生経験の豊かな人から与えられる自己研鑽の効果は計り知れないものがあると述べられた。中でも、成瀬さんは心の友を沢山得たことが大きな良さであり、趣味の世界でもお互い楽しみながら切磋琢磨し、同業同士では決して味わえない心の安らぎを感じると述べられた。このような効果は例会出席によって付加されるものであり、例会出席の意義は大きいと再確認いたしました。

更に例会出席によって、卓話の効果も大きいものがあります。卓話は話す側に立って、物事を考える機会を与えられたという岡本さんのご意見、聞く側に立って、そのメリットの大きさを述べられた重山さんのご意見も自己を高めるのには大きな力になるものと思われた。

永井さんは韓国に行って困った時に、元米山奨学生に助けられた経験から先輩ロータリアンが引いてくれた繋がりに感謝していると述べられた。

次に、『知人、友人が多くできた』こと以外に、幅広く『ロータリーに入って良かった』と思う点についての皆さんのご意見は例会出席と奉仕活動への参加によるロータリーの良さ、この2点にしぼられるようです。例会出席に関連しては成瀬さんは異なった観点から一日の生活が規則正しくなり健康になったと、池中さんから奉仕とはいかなるものかを知り、人生の哲学をいろいろと学び取ることができたと言われた。岡本さんは出席の義務によっていろいろのメリットがあり、

物事を考えたり、話す能力ができたり、『今日の例会は楽しく、出席して良かったと感ずる時がある。』等述べられ、これらのご意見は例会そのものが自己研鑽の場であり出席することによって大きな報酬がついてくると言えると思います。

一方、奉仕活動を通じて感ぜられるロータリーの良さについては奉仕活動に参加することによって感動、喜びを実感できるという



比楽さんのご意見、永井さんも奨学生が喜んでくれることが喜びであるとの実感、重山さんのインターアクト・クラブ会員を通じて若い人の気持ちが理解できるという感想等々、これらこそがロータリアンとして基本的な最も重要なことだと思います。そしてその感動そのものが退会を防止し、クラブを活性化するものだと思います。前年度のキング R I 会長の『会員を維持する方策』という資料の中に、『奉仕活動は存分に参加をし、その喜びと感動を味わって貰ったらいい』とあります。退会の理由には健康上の問題、事業の不振、転勤等やむを得ないものも多いが、未然に防げるものとして、RCに魅力を感じなくなったというのがあります。奉仕の感動、喜びを感じていないから、更に言うならば奉仕活動に参加しないからといえるのではないのでしょうか。今年度のピチャイ・ラタクル R I 会長も自分の過去のロータリー活動の中で実感された話を皆様すでに聞いておられる通りであります。

続いて、自分では感じていないが他人から聞いた、ロータリーに入会して良かったと思う点について、堺フェニックス RC でのクラブ・フォーラムの内容を岡本会長から次のように発表された。海外へ行って例会に出席するとロータリアンというだけで歓迎を受けたこと、ボランティアは一人ではやりにくいのがロータリーのなかでは自然に何か役立てられるという嬉しい気持ちが沸いてくるといふこと、ピラミッド社会しか知らないものがロータリーという水平社会を見て組織運営の点で非常に参考になっていること、楽しいロータリー・ライフが揃っているといふことの4点を挙げられた。



フロアからの意見として堺南 RC の嶋田さんからクラブのアンケートの結果によると、入会して良かった人は 30 人、後悔している人が 4 人である。入会して良かったのは異業種の友人が多くできたこと、人前で話すことができるようになったこと、4 つのテストが人生の指針となったこと、例会での卓話で見識が広まり楽しみであること等で今日のパネリストとまったく同意見のようです。一方、後悔している方の意見では、仕事の関係で例会や

他の行事に参加できない辛さを感じたり、それ相当の費用がかかること、年数を経て立場上辞めたいと思う時がある等であった。この結果は無記名式なので記名式であれば多少結果が違っていたかもしれないとのことでしたが、皆さんいくらかのデメリットをお感じになっておられても良

さの方がずっと多いからこそ現在も退会しないで在籍しておられるのではないのでしょうか。

更にもうお一方、堺清陵RCの瀬川さんからは出張先の例会に出席したときロータリアンというだけで大変信用され親切にさせていただいて商売の方もスムーズに行ったこと、海外出張のメーキャップのときも大変親切にしてもらえること、更に一番大きく感じたのは奥さんを亡くしたとき、ロータリーも辞めようかと思うほど寂しい思いをしたが、思い切って例会に出席すると温かく迎えられ、慰められ、心強く感じ、ロータリーの友達のありがたさを痛感したと語ってくれました。例会出席は会員の顔を見るだけで気持ちが休まる効果があるということでしょうか。

次に、今までとは逆に、ロータリーに入会したことのデメリットとその改善策についてのご意見としては以下のようなご意見が出ました。池中さんから自分の仕事が忙しいとき、時間のやりくりが大変だ。更に、公務員、会社員では定年後、クラブ会費の負担が大きい。対策として経費の節減でクラブ会費を少なくすることが必要と述べられ、成瀬さんは土、日の地区行事が多過ぎる。改善策としては連休でない土曜日にとどめてほしいと希望された。比楽さんは事業規模、職種の異なる人との調和の難しさと自分の会社の業績の良し悪しで自分の負担が異なる。改善策は自分のペースでの活動を心がける。岡本さんは職業柄もあるが、不況期には顧客に対してロータリーのことを口に出来ない雰囲気がある。ロータリアンの社会的認識がなされていないからであろうか。その改善策としてロータリアンの社会的認識を広めるための地域広報も必要だが、そのためにはポリオ撲滅運動のような運動でわが国に関わるものを日本全地域で展開する必要があるかもしれない。例えば青少年教育『ロータリアンは職場体験学習を受入れます。』キャンペーンなど。重山さんは規則の多い世界で溶け込みにくく、主婦との両立のむづかしさを強調された。この点に関し、大丸パスト・ガバナーから少し柔軟に考えるようにすればとの助言をいただきました。

以上、パネリストの皆様方から『ロータリーに入会してよかった』というテーマで、多方面にわたるご意見をいただきました。今日のパネリストのみならず、ご出席の皆様方はみんな同感だと思います。何故ならばロータリーに入会してよかった思えばこそ、現在もRCに所属しているわけで、もしもそうでなければもう退会してここにはおられないでしょう。

最後に、ロータリアンとしてそれぞれに入会の喜びを感じておられるならば、その喜びをロータリアンでない人にも味わっていただけるように入会を勧め、増強に努力してもらえば今日のパネル・ディスカッションが更に有意義なものになるものと確信いたします。

以上、このパネル・ディスカッション開催に当たりましていろいろとご指導頂きました亀岡パスト・ガバナーには深甚なる謝意を表したいと思います。

更には、パネリスト皆様方のご協力によりまして内容のあるパネル・ディスカッションとなり、また時間厳守のおかげで定刻に終わることができましたことをここに感謝申し上げたいと思います。

また、会場の皆様にも最後までご清聴ありがとうございました。



2002年～2003年度
国際ロータリー 第2640地区
第8組

INTERCITY MEETING



2002年～2003年度RIテーマ
慈愛の種を播きましょう

参加クラブ (堺14RC)

堺 R C	堺 南 R C	堺 東南 R C
堺 泉北 R C	堺 東 R C	堺 北 R C
堺 西 R C	堺 おおいずみ R C	堺 泉ヶ丘 R C
堺 中 R C	堺 北西 R C	堺 南西 R C
堺 フェニックス R C	堺 清陵 R C	

と き 平成14年10月12日(土)

ところ リーガロイヤルホテル堺

[ホストクラブ]

堺清陵ロータリー・クラブ

2002年~2003年度 国際ロータリー 第2640地区 第8組
INTERCITY MEETING
プログラム

登録受付 12:00~13:00 (4Fロビー)

開会セレモニー 13:00~13:20

○点 鐘	司会・進行 SAA	小 出 十代和
○国歌斉唱・奉仕の理想	ホスト・クラブ会長	木 寺 克 彦
	ソング・リーダー	前 原 聡 子
	ピアノ演奏	安 則 和 子
○開会の辞	IM実行委員長	櫻 井 弘 彦
○歓迎の辞	ホスト・クラブ会長	木 寺 克 彦
○ガバナー挨拶	第2640地区ガバナー	小 島 哲 弘
○ゼネラル・リーダー挨拶	ゼネラル・リーダー	亀 岡 弘 弘
○来賓紹介	ゼネラル・リーダー	亀 岡 弘 弘
○参加クラブ紹介出席報告	登録委員長	吉 村 誠 治

本 会 議 13:20~15:20

○基調講演 13:20~14:20
 テーマ 「ロータリーに入会して良かったー会員増強と維持についてー」
 講師紹介 コーディネーター第2640地区
 ガバナー補佐 清 東 祥 晃 (堺清陵RC)
 講 師 RIMC第2610地区バスト・ガバナー 仲 谷 純 三 (小松シティRC)

○パネルディスカッション 14:20~15:20

コーディネーター	ガバナー補佐 (堺清陵RC)	清 東 祥 晃
パネリスト	ガバナー補佐 (堺南RC)	池 中 徳 治
パネリスト	ガバナー補佐 (堺東南RC)	永 井 孝 弘
パネリスト	堺RC会長	成 瀬 寿 一
パネリスト	堺東ヶ丘RC会長	比 菜 卓 郎
パネリスト	堺フェニックスRC会長	岡 本 勝 士
パネリスト	堺東RC会員	重 山 香 苗

閉会セレモニー 15:20~15:50

○閉 会	司会・進行 SAA	小 出 十代和
○講 評	ゼネラル・リーダー	亀 岡 弘 弘
○謝辞と次回ホスト・クラブの紹介	ガバナー	小 島 哲 弘
○次回ホスト・クラブ会長挨拶	堺中RC会長	鎌 田 稔
○閉会の辞	IM実行副委員長	尾 松 惣一郎
○親子ふれあいフェスティバルPR	堺おおいずみRC	前 内 禎 宏
○手に手つないで	ソング・リーダー	前 原 聡 子
	ピアノ演奏	安 則 和 子
○点 鐘	ホスト・クラブ会長	木 寺 克 彦